

令和6年度 第9回教育委員会会議録

日 時 令和6年12月20日（金） 10時00分～10時58分

場 所 教育委員会 3階会議室

議 題

報告事項

- (1) 第3回尾鷲市二十歳のつどいについて
- (2) 令和6年度尾鷲市PTA大会について
- (3) 尾鷲市体育文化会館及び中央公民館耐震・長寿命化工事について

出席者

|           |        |
|-----------|--------|
| 教育長       | 田中 利保  |
| 委員（職務代理者） | 内山 善嗣  |
| 委員        | 北裏 佳代  |
| 委員        | 米倉 すが  |
| 委員        | 榎本 加奈子 |

出席事務局職員

|              |       |
|--------------|-------|
| 教育総務課長       | 柳田 幸嗣 |
| 教育総務課調整監     | 渡邊 史次 |
| 生涯学習課長参事     | 森下 陽之 |
| 教育総務課主幹兼総務係長 | 柳瀬 誠  |

## 10時00分 開会

教育長：傍聴希望の方がみえていますので、入室を許可してよろしいでしょうか。では、お願いします。皆さんおはようございます。まず、新しい教育委員の方を紹介したいと思います。榎本加奈子さんです。一言、あいさつをお願いします。

### 榎本委員就任あいさつ

教育長：よろしくをお願いします。では、第9回教育委員会を開催します。前回会議録署名委員はA委員とB委員でした。今回会議録署名委員はB委員とC委員ということで、よろしくをお願いします。今年も残すところ10日余りになりました。学校も23日が終業式ということで、先日の校長会では2学期の反省や冬休みの指導について話をさせてもらいました。その中で、新聞で読んだんですが、アパレル業界では季節の四季について、この頃は五季で考えるそうです。販売を行っていく上で、6・7月を初夏・盛夏、8・9月を猛暑として、春・夏・夏・秋・冬の五季で考えていく戦略ですね。夏物の販売時期を延ばしていこうということなんですが、例年、8月にはそろそろ秋物を出すんですが、近年は9月になってもまだ夏物がよく売れて、秋物がぜんぜん売れないそうです。そこで、季節に敏感なアパレル業界としては大きな転換が迫られているとのことでした。教育会においても、体育・運動面では例年どおりの暦では対応できなくなっています。先日も言いましたが、11月9日に開催された矢浜小学校の運動会では、途中から暑くなりすぎて、テントの下にいても日差しが強すぎて、影のある方に移動しました。社会見学とか校外活動においても、ある学校では虫取りに行ったけど、あまりの暑さで帰りは車を要請して、車で迎えに来てもらったということがありました。これはいい判断だったかと思います。無理して歩いて帰ってはいは大変な事故になったかもしれません。何年か前に豊田での事故がありました。暑い日に虫取りに行って帰ってきてから、教室にいた1年生の子どもが熱中症で亡くなってしまったという事故ですが、そこから各教室にエアコンが付くようになりましたね。つまり、その時点になって考えるのではなく、4月の年度当初に計画を立てる時から、そのことを頭に入れて計画を立てないといけません。昔のような季節感に戻ることはないと思いますから、そのことに留意して、

計画の段階から入れていこうという話を校長会ではしました。2学期もいろんなことがあり大変でしたが、どうにか乗り切って終業式を迎えることになると思います。それでは、事項書4の教育長報告をさせていただきます。

【主な教育長報告】

- 1 1月21日（木）賀田小学校英語教育
- 1 1月23日（土）航空スポーツ教室
- 1 1月24日（日）尾鷲市社会福祉大会
- 1 1月25日（月）尾鷲地区教育長会議
- 1 1月25日（月）四者協議会
- 1 1月26日（火）全員協議会
- 1 1月26日（火）尾鷲高校まちいく
- 1 1月27日（水）定例記者会見
- 1 1月29日（金）第2回尾鷲地区校長会
- 1 1月30日（土）尾鷲市PTA連合会体育大会
- 1 2月 3日（火）第4回尾鷲市議会定例会開会
- 1 2月 6日（金）尾鷲中学校公開研修会
- 1 2月 7日（土）少年の主張
- 1 2月 9日（月）一般質問（岩澤議員）
- 1 2月10日（火）一般質問（中村文子議員）
- 1 2月11日（水）一般質問（西川議員）
- 1 2月12日（木）榎本教育委員辞令交付式
- 1 2月13日（金）行政常任委員会
- 1 2月15日（日）子育てHAPPYDAY  
「HAPPYワーク in にゃんにゃん王国」
- 1 2月16日（月）校長会
- 1 2月18日（水）第4回尾鷲市議会定例会閉会
- 1 2月18日（水） 15：00 文化振興会理事会

教育長報告は以上です。教育長報告について何かありましたら願います。なければ、次に事項書5、報告事項をお願いします。

事務局：第3回尾鷲市二十歳のつどいについて説明します。資料1をご覧ください。開催日時は令和7年1月12日（日）午前10時30分から、尾鷲市民文化会館での開催を予定しています。今回も、二十歳のつどい実行委員会ということで、14名の方に準備等いろいろと進めてもらっています。裏面をお願いします。当日はまずオープニング映像が流れた後、開式の言葉を教育長からいただき、その後、国歌

斉唱、市長式辞、激励の言葉を尾鷲市議会議長と三重県議会議員のほうからいただきます。来賓紹介、祝電披露の後、代表者の方に記念品を贈呈し、二十歳の想いということで、4名の方に想いを述べていただきます。その後、恩師からのメッセージということで、中学校当時の担任等、5名の方に当日来ていただき、メッセージをいただくことになっています。その後、代表の方からの謝辞、最後に社会教育委員長から閉式の言葉をいただく予定となっています。昨日の時点で、対象者が男78人、女55人の計133人で、出席希望者として男61名、女43名の計104名が参加予定となっています。まだ返事が来ていない方もいますので、これよりは若干増えると考えています。去年の参加者が104名でしたので、同規模か、若干増えるものと思います。二十歳のつどいについては以上になります。

教育長：昨年度は恩師2名からのメッセージで、静止画に音声といったメッセージだったんで、ぜひ今回は当日顔を出してもらいたいということで、生涯学習課で5人の方々に折衝してもらって、来ていただけることになりました。子どもたちの心に残るメインは恩師からのメッセージだと思いましたが、担当課には頑張ってもらいました。では、次をお願いします。

事務局：令和6年度尾鷲市PTA大会について、資料2をお願いします。令和7年2月22日13時30分から講演会を予定しています。「叱らなくても子どもは伸びる」という演題で、親野智可等さんに講演していただきます。ゲーム・スマホ・勉強・しつけ（思春期・反抗期）など目から鱗の子育てと家庭教育というテーマでお話しいたします。親野智可等さんは教育評論家、本名は杉山桂一さん、長年教師として、子育て、しつけ、親子関係、勉強法、学力向上等を具体的に提案し、『子育て365日』、『反抗期まるごと解決BOOK』など、ベストセラーを多数書かれている方です。また、人気マンガ『ドラゴン桜』の指南役としても著名な方です。各学校にこのチラシを配布させていただき、申し込みは学校に提出していただく形で募集をかせせてもらいます。以上です。

教育長：はい、委員の皆さんも、時間があればぜひ聞きに行ってもらいたいと思います。では、次をお願いします。

事務局：次に、尾鷲市体育文化会館及び中央公民館耐震・長寿命化工事についてということで、資料を配布しましたが、こちらのパネルも見てくださいながら説明いたします。1枚目が体育館の外観になります。現在の体育館は日本芸術院会員、法政大学工学部名誉教授だった建

築家、大江宏さんがデザインされたもので、この特徴的なデザインを継承し、屋根は建設当時と同じ赤色に塗りなおす予定です。今回、設計業者から施設の集約・複合化について提案いただき、その中の大きなポイントとして、体育館の中に現在中央公民館にある図書館を機能移転し、新たに設置します。イメージとしては1階が図書館、2階が体育館の2層式になります。次をご覧ください。これが新しい図書館のイメージで、フロアの広さは1,080㎡、体育館の中に新たに設置することで、広さは現在の図書館の3.6倍になります。蔵書数につきましても、現在の図書館には館内以外の閉架式書庫にある図書も合わせて7万6千冊なんですが、新しい図書館では2.5倍の19万冊が備えられるような施設になります。コンセプトとしては、尾鷲のリビングルームということで、あらゆる世代の方々が快適に過ごしていただける、居心地のいい滞在型の図書館を目指していきたいと思っています。中央にはヒノキの森をモチーフとしたオブジェを設け、その下で本に親しむことができるスペースも設置していきたいと考えています。また、本棚で囲まれた子どもコーナーは小上がりとなっており、リラックスしながら本に親しむことができるスペースを作っています。近くには、現在司書の方にいろいろやってもらっている読み聞かせができる部屋や、子ども用のトイレ、授乳室も設置していきたいと考えています。また、近年の利用者に合わせた1人用の読書スペースとか、学生が勉強できるよう個室のブースも設置する予定で、また、貴重な郷土資料を閲覧する部屋も新たに設ける予定です。次をお願いします。図書館の南側、道路側になりますが、壁面を有効活用して採光を確保するため窓を設け、テラスを設置することで、室内外で一体的な利用が可能になります。また、テラスで休憩したり、尾鷲の四季を感じながら読書を楽しむということもしてもらえればと考えています。1階には図書館のほか会議室、シャワールーム、事務所、現在庁舎の別館にあるトレーニングルーム等も移転設置を予定しています。次をお願いします。こちらが2階体育館になります。新たに建て直した、ゆったりとした階段と中央にはエレベーターも設置し、上がったところが体育館のアリーナになります。広さは現在と同じ大きさで、1,080㎡、これまで同様バドミントンコートが6面取れる広さになっています。天井高はちょっと低くなって8.6メートルになります。現在、入り口側に観客席がありますが、その上にロッカー室を設置したり、観客席は一部残すことにより多目的な使い方ができるように、市民の

生涯スポーツ推進の拠点になればと考えています。最後に、中央公民館になりますが、資料の最終ページの図面になります。2階について、全体を子ども向けの施設にしたいと考えています。先ほど説明しましたとおり、図書館が体育文化会館の中に移転するため、その跡地につきましては子どものリビングルームというコンセプトで、天候に左右されない子どもの居場所、子育てボランティア活動の場として活用していきたいと考えています。広さは約300㎡になります。今後、こちらの利活用につきましては生涯学習課はじめ福祉保健課など、子育て支援に関係する課で連携して詳細を決めていきたいと考えています。また、子育て中の親子の交流により、親子で友達を作る場や、子育て等に関する悩みの相談など、子どもだけでなく親にとっても有益な場所になればと考えています。また、同じ2階には現在調理室がございますが、これを使い勝手のいい多目的室に変更します。図工室とともに貸館がないときは子どもたちが調べ学習やものづくりをする部屋として活用したいと考えています。また、庁舎別館にありますおおさぎ教室についてもこちらに移転していきたいと考えています。今年度中に設計を完了し、令和7年・8年の2カ年で工事が完了する予定となっています。説明は以上になります。

教育長：このことについて、気になることや要望があればご意見をいただきたいと思います。新聞ではカラー刷りではなかったのでイメージも湧かなかったかもしれませんが、今日はパネルも用意してもらいました。中央公民館についてはまだパース図が完成していないので、早急に作成しますとのことでした。

D委員：バレーボールとか、天井の高さは大丈夫なんですか。

事務局：バレーボールは大丈夫です。バドミントンを普通にやる分には大丈夫なんですけど、公式試合だと高さが12メートル以上必要になってきます。ただ、大きな大会になると、そもそもコート数が足りないので、紀北町と合同で開催するということは考えられますが、尾鷲単独での公式大会の開催は難しい部分があります。現在使用中止となっておりますが、普段使用されている団体の使用には特に問題ありません。

D委員：2階はどうなるんですか。

事務局：3mくらいのキャットウォークの部分を取ってしまい、フロアが36m×30mになるので1,080㎡になります。

教育長：僕もこの話を聞いた時、高さがちょっと気になりました。もうひと

つは、2階にトイレがないんですね。トイレを設置しようとする  
とアリーナを削らないといけなくなるので。

D委員：音は下にドンドン響いたりしないんですか。

事務局：これまでもこういう施設を施工したことがあるとのことです。

教育長：僕も高さのことと、トイレ、音が響かないかということは心配でした。

事務局：市長も、自分が阪急で社長をしている時に3階にスポーツ施設、その下が事務室の建物を作ったことがあるとのことで、ただ、それは昭和の時の話なんで、今ですと設計業者さんがこれまでもそういう施設を設計したことはあるとのことです。

D委員：中央公民館の2階にあおさぎ教室が入るようになっていますが、他の子どもと接触するようなところに置くのはどうなのでしょう。

B委員：私もそれは気になりました。

教育長：それについては、体育館にという話もあったんですが、中央公民館もリニューアルすることで、今あおさぎ教室がある建物は耐震性がないので、もうここしかない。中央公民館の3階へということも考えましたが、3階となると1人態勢では大人が目が届かないのが怖いなというのがあって、2階だと児童スペースにいるスタッフの目が届くので、3階より2階がいいかなとなりました。

C委員：隣のものづくり室で子どもたちが何かしていたときに、それは休みの日かもしれないけど、なかなか人と接することが苦手なあおさぎの子どもたちが横でガヤガヤされていたら、もう行きたくないってならないのか心配です。

教育長：それについては、壁がしっかりしているし、廊下側も大きな壁とドアだけで遮蔽されます。それから、あおさぎの子どもたちは同級生に会うのは嫌がるけど、時間帯がずれてくると思います。ナイーブなところがあるので、そのへんも十分考えないといけません。時間帯がずれるということもあるし、あおさぎにくる子はエネルギーがあるんだと思います。エネルギーがぜんぜんない子は、引きこもって家から出ないんです。家に面談にいても親しか出てこないんですね。すこし元気が出てきた子は学校へ行く。でも教室には行けないので別室登校とかコネクトルームに行くとかで、もうちょっと元気が出てきた子はあおさぎに来る子もいて、今来ている子はずっとあおさぎにいたり、家でリモート授業を受けて、それが終わってから来る子もいます。ちょっとエネルギーがある子なんで、隔離するんじゃない、ゆるやかに人との交流を進めていく段階だと考えてい

ます。今あおさぎの先生が図書館や中村山へ連れて行ったりと、ゆるやかな人との交流は大事なんですね。中央公民館の2階フロアには乳児や幼児が近くにいるようになるので、もしかしたらその子たちと交流するプログラムもできるんじゃないかなと思います。D委員が言われるように、やっぱり人との交流が苦手な子ばかりなんで、その辺は注意していかないといけないんで、物理的にいい場所に持っていければよかったですけどね。もともと紀北町の教育会館に持っていけばという話もあったらしいですが、そうはなりませんでした。

D委員：本来は、尾鷲市と紀北町に2カ所あって然るべきなんですね。それから、ここはちょっと狭いと思います。私は前の尾鷲幼稚園の跡地がよかったんじゃないかと思ってましたけどね。

教育長：尾鷲幼稚園跡の奥の家庭科室を間仕切りしてという話もありましたが、間仕切りするだけではちょっと難しいですね。市長は中央公民館の2階を全部子どもスペースにしようとしたわけです。1階の視聴覚室に教育総務課が入って、よく会議に使っていた視聴覚室がなくなるので、会議もできる多目的な部屋を2階に用意しました。あおさぎの子どもが増えて手狭になったら、奥の部屋へ持っていくこともできるかもしれませんが、ないスペースで考えたらこの案が精一杯かなと思います。

D委員：不登校の子どもらは自分の空間がほしいので、広いほうがいいんです。今は4人ということなんで大丈夫かもしれませんが、それが増えてくると狭いような気がします。そこは要検討だと思います。尾鷲幼稚園跡はだめなんですか。

教育長：そんなに心配はしていないけど、学校に行けない子が学校の横へ行くのかというのがあります。

D委員：都会とかではデパートの中にあったりします。いろんな難しい点があると思うんで、よりよい方向になるように検討してもらいたいと思います。

教育長：また考えていきたいと思います。まだまだ設計の段階なんで、可能性のあるところは見えていけるかなと思いますので、よろしく願います。ほかに、よろしいでしょうか。では、事項書6のその他で何かありますか。なければ、事項書7、次回開催日について願います。

日程調整

教育長：はい、次回は令和7年1月21日（火）の午後1時30分からということで、お願いします。では、これで第9回教育委員会を閉じます。ありがとうございました。

10時58分 閉会